株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録（2026 年 10 月 15 日開催分）

開催年月日： 2026 年 10 月 15 日(木) 17：00～18：00
開催場所： 株式会社 WOWOW プラス内　Space17C 会議室
出　　席： 番組審議員　　6 名
書類審査　　1 名
WOWOW プラス　　7 名
出席者
［審　議　員］青木眞弥、太田秀樹、音好宏、朱牟田眞吾、中町綾子、
村上典吏子（以上 50 音順、敬称略）
［放送事業者］（株式会社 WOWOW プラス）
宮澤辰之、森田健介、松田健吾、植竹伸剛、伊藤里沙
内藤友基（記録撮影）、高野佳彦(書記)
書類審査
［審　議　員］原田健明　（敬称略）

議　　題： (1) 2026 年 7 月～9 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) 「WOWOW プラス」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： **2026 年 7 月～9 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について**
株式会社 WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項： ［審議番組］
『警部ベルジュラック～豪邸に潜む闇～［吹替版］』
＜審議番組概要＞
本作品は、往年の人気刑事ドラマを新キャスト陣でリブートした最新の英国ミステリードラマ。イギリス海峡に浮かぶジャージー島を舞台に、妻を亡くし失意の日々を送る敏腕刑事が、娘のために再起を懸けてある豪邸で起きた殺人事件に挑む。
当社では、重厚な心理描写や情緒あふれるロケーションに定評がある英国(欧州)ミステリードラマが日本のテレビ視聴者層の知的好奇心を満たせると考え、WOWOW との 2 社共同調達により最新の英国(欧州)ドラマを定期的に編成しており、本作品もそのひとつ。
初回放送にあたっては、海外ドラマに馴染みが薄い視聴者やシニア層にも積極的にお楽しみいただけるよう、日本語吹替版で編成 （字幕版は後日放送実施）。
・WOWOW との 2 社共同調達により最新の英国(欧州)ミステリードラマを定期的に放送する編成方針と、それが WOWOW プラス視聴者にとって価値ある番組と考えられるか。
・初回放送を日本語吹替版で編成したことは視聴者にとって適切であったか。

審議内容： ■審議員意見
・最近の配信 PF 提供のドラマは展開が早いのが売りだが、逆に英国の伝統的重厚なドラマを独自に取り上げて編成している方向性はよい。日本語版については、日本人は映画は字幕を好んでいたが今では吹替も支持があり、「刑事コロンボ」の時代やそれ以前から TV ドラマや映画の TV 放送は吹替で楽しんでいた。字幕でオリジナルの声を聴きたいという需要には別途字幕版が用意されているということも踏まえてよい方向。元々『シネフィル・イマジカ』としてなかなか見られないアートフィルムとか名画などを取り上げてきたことからも本格的ドラマを見せることは期待値に合致していると考える。

・作品自体は島のロケーションを効果的に活かした構図、対比、明暗などを用いて事件の重さとか主人公の孤立感、人間関係の閉鎖性などを映像的に表現し、実在感につなげる音響面の効果も含め派手な演出に頼らずサスペンス性を高めている点は評価したい。吹替

版においても登場人物の感情や関係性がわかりやすく日本の視聴者が物語に入り込みやすい仕上がり。本作は上質なエンタテインメントを好む 50 代後半から 70 代前半のチャンネルの視聴者層によく合致しているのではないかと感じた。一方で WOWOW との共同調達は調達コスト抑制効果の反面差別化や棲み分けが難しくなる懸念がある。とはいえ良質なコンテンツというのは生命線であり、今後も見やすく聞きやすく理解しやすい質の高い作品を届けていただくことを期待したい。

・冒頭のコラージュ演出から、ゆったりとした展開や洗練された映像美、英国特有のユーモアに引き込まれる。地上波の棚に英米のドラマがずらっと並んでいた時代から、視聴が細分化している現代において、編成を通じて昨今の米韓作品のスピード感とは異なるお洒落さに触れる機会の提供には大きな意義がある。吹替については、英国作品の雰囲気を出すためか語彙数が多く、セリフが早口で耳が忙しい印象。中・高齢層に優しい吹替、であればセリフ量の調整は検討してもよい。また、字幕版の提供は本人の声を聴きたいニーズがあるので不可欠であろう。良質な作品の一挙放送で時間を溶かすのは現代において豊かな時間の使い方で、今後も同様の企画を期待したい。

・世界的なリメイク作品の流行を捉え、早いタイミングで放送することに意義を感じる。配信では作品数が膨大でどこに何があるのか判らず埋もれてしまいがちだが、放送で「一挙放送」として提示されることで、届くべき層に確実に届くだけでなく、自発的に探さない視聴者にとっても作品と出会う好機となっており、非常に意義のある事。視聴環境については、加齢に伴い吹替版の快適さを実感している。その上で、夜間などに音声が聞き取りにくい場合を想定し、配信サービスで見られるような「日本語音声＋日本語字幕」で視聴できる機能があると非常に分かりやすくありがたい。

・派手なアクションが多い米国作品とは一線を画し、島のロケーションを生かした丁寧な演出とそれに応える役者の好演、人間味あふれる主人公の描写など、単なる謎解きにとどまらない落ち着いた重厚な世界観に引き込まれた。質の高い落ち着いた欧州ミステリーを好む層に向けて、前月からスポット CM を打つなど事前の周知が丁寧に行われていて視聴動機を高める上で非常に効果的であり、評価したい。吹替版についても元々テレビドラマを吹替で触れていたので全く抵抗ない。字幕版の放送予定も効果的に広報することで、そちらの視聴意欲も喚起できる。今後も丁寧に作られた上質な人間ドラマの編成・提供を継続してほしい。

・英国ミステリーは落ち着いたストーリー展開でどこか懐かしさを感じる。過去に NHK でこの種のドラマが数多く放送されていて、この視聴体験をしていた世代と WOWOW プラス視聴者層には広く重なりがあるようにも思えることから、今回の番組選択は非常に合理性の高い編成だと思う。作品としては知的好奇心をくすぐりドキドキさせる内容で続きが気になり純然たるエンターテイメントとして十分に価値がある。日本語吹替版についてはミステリーという特性上、情報を絞ることで試行錯誤しながら作品に没入できることからテロップの無い吹替版が適切だと思う。

・作品内容自体より、英国ミステリーの露出を継続的に編成されてきたことに価値があるし今回この作品を出されたということにWOWOWプラスらしさが表れている。昨今のスピード感重視の作品が多い動画配信に対し、欧州作品ならではの落ち着きや深み、階層社会を巧みに描く作風は貴重である。WOWOWプラスの視聴者から溢れ出る形で非加入者にもPRすることがこの作品に関してはよいのでは、と感じた。配信全盛の今だからこそ、「欧州ミステリーに強みを持つチャンネル」としてのプレゼンスを、非加入者へも積極的に発信していくことが存在感の向上につながる。吹替版については、年齢的にも、タイパ的にも、全く苦にならず、吹替文化の価値を感じた。

連 絡 事 項 ： 次回番組審議会は、2027 年 1 月 14 日（木）午前 11 時（予定）より開催。

以上